

## Success is not Final, Failure is not Fatal.

成功は最終的なものではないし、失敗は致命的なものでもない。

令和6年度 高校第2学年 学年通信 第10号 令和7年1月8日(水)発行

## 3年0学期 始まる

新年明けまして、おめでとうございます。

新学期が始まり、皆さんの元気な顔を見ることができ、とてもうれしく思いま

さて、「**1年の計は元旦にあり**」といいますが、皆さんはどのような目標を立て たのでしょうか。

下のスケジュールには書いてありませんが、今月末の28日(火)からは3年 生の卒業試験があり、それを終えれば実質皆さんが最上級生ということになりま す。3年生になるのは、新しい年度が始まる4月からだと思っている人がいると 思いますが、そのスタートの合図が、まさに今鳴ろうとしているのです。これが、 タイトルに書いた「3年0学期」という意味です。

そこで、皆さんには「**今日から最上級生である」という自覚**を持ち、一人一人 が最上級生として「卒業後の進路を決めるために何をすべきか」を考え、目標が 達成できるように、**一日一日を大事に過ごしてほしい**と思います。

1月の	事予定  ——	
8日 10日 13日 13日 15日 178日 19日 223日 24日 28日 28日 31	(月) (八) (八) (円) (八) (八) (八) (八) (八) (八) (八) (八) (八) (八	回入学試験 限目カット、入試準備のため) 高校 推薦制・スポーツ文化選抜制入学試験 定日 ) / 大学入試共通テスト ) / 大学入試共通テスト ) / 大学入試共通テスト
2月	1日(土)・2日(日) 3日(月)・4日(火) 7日(金)	共通テスト模試 <b>自宅学習日・・・・高校・試験制入学試験</b> 次年度前期生徒会役員選挙公示、カウンセリング予定日 漢字検定(16:45~)

## 進路を考えよう!

あなたは、面接の準備をしていますか。

面接試験は、就職試験はもちろんのこと、大学・短大・専門学校への進学の 際にも課されます。つまり、将来への選択肢は様々あっても、必ずと言っていい

ほど面接試験を受けることになるということです。

では、具体的にどのようなことを聞かれるのかというと、主なものは次の6つです。

- ① 長所と短所を教えてください。
- ② 将来の夢を教えてください。
- ③ 大きな失敗をしたことがありますか。
- ④ 入学(就職)後にやりたいことは何ですか。
- ⑤ どのような経緯で大学(会社)を知りましたか。
- ⑥ 志望動機は何ですか



これらの質問を見て、皆さんは次のように感じたのではないでしょうか。

①の「長所・短所」と②の「夢」については今すぐ答えられそうだ。

また、③の「失敗経験」などは思いつきませんが、形を変えて「高校で頑張ったことは何で すか」と質問されることがありますから、それならばなんとか答えられそうだ。

しかし、何の「やりたいこと」、⑤の「経緯」、⑥の「志望動機」はある程度進路が決まらない と答えられない。だから、「面接の準備は、受験する大学や会社が決まってからするもの」だ。

ところが、このような考えで面接の答えを用意しても成果は望めません。なぜなら、試験で 担当者が知りたいと思っていることは、あなたの「人生設計」で、一つ一つの答えがどうであ るかというよりも、全体として**あなたの姿が見えるストーリーになっている**かどうかが重要だか らです。

この視点で、質問の見直すと次のような答え方をする必要があるのではないでしょうか。

- 私の良さは〇〇です。
- ②私には〇〇という夢があります。
- ③ その夢を達成するために挑戦したことがあります。
- ④ カ不足であったことを身につけていきたいと思っています。
- ⑤ 私が〇〇を調べて(参加して)知りました。
- 能力を身につける場所として最適であると考えた。

このようなストーリーを描くためには、今から準備する必要があります。

その手始めが、**自分の良さが何かに気づくこと**です。

その上で、自分の良さを発揮できる夢、例えば独立心の旺盛な人は「社長」を目指すとか、 独創性のある人ならば「研究者」になるとか、優しさにあふれた人ならば「福祉の仕事」につ きたいといった、おおざっぱでもいいので大きな目標を立ててみましょう。

それができたのなら、目標を達成できそうな道筋(ルート)が見えてくるはずです。

そして、大切なことは目標にむかって行動を起こすことです。

質問にもあるように、失敗してもいいのです。まずは行動を起こしましょう。たとえ失敗して も、その失敗のなかから、今の自分に足りないことや、これから身につけなくて

はならないことを見つけることが大切なのです。こうした経験が、④の「やりた いこと」や⑥の「志望動機」につながってくるのです。

さらに、このような準備を行っておけば、グループティスカッション面接など

**でも、力を発揮することができる**はずです。

さあ、あなたも今から面接準備を始めて見ましょう。

